

# 昭和二十年代・三十年台のCBCラジオ劇関係資料について

飯塚恵理人

はじめに―「メディアと古典芸能研究会」の発足と「放送資料」のアーカイブ化について―

平成十七年に、神戸女子大学講師の大山範子氏などメディア教育等の関係者数名に声をかけて「メディアと古典芸能研究会」を立ち上げ、活動を開始してから早くも六年以上が経過した。メディア、特にラジオ・テレビという「放送」によって、各地で差異があつた謡の謡い方が東京の「家元」の謡い方へ統一されていくことが促され、コンサートに行かないクラシックファンや寄席に行かない落語ファンという「出入りできる場所と自分の階級を超えた」芸能の愛好者が大いに増える変化がもたらされた。これらのことに気付いた者は、能楽研究者など古典芸能の研究者であつても、「享受史」の観点からこのジャンルの近代史・現代史をゆるがせにできない状況になりつつあることを認識し、そうした者たちが集まって、この研究会が発足したのである。

最近の情報機器の発展により、SPレコード・オーブンリールテープの音源をデジタル化してハードディスクに保存することが可能に

なったことは、研究の推進に大きく寄与した。ユーチューブなどによって、映像の配信も可能になった。筆者の研究室のホームページからも、ラジオ放送の音源や放送に関係した著作権の消滅したSPレコードの音源を配信している。古い民謡・謡曲などは、著作権自体は消滅しているから演奏者の権利である著作隣接権が消滅する五十年目からは配信可能なのだが、新民謡・編曲した筆曲・長唄などについては編曲した作曲家の死後五十年まで著作権が残るため、今現在配信できないものが多い。歌謡曲・演劇なども、その作詞家・作曲家・劇作家の死後五十年までは著作権が残るため、現在は配信できないものが多い。そこでSPレコードの音源配信の際にはすべてj a s r a cのホームページで著作権等を確認してから行っているが、不備を恐れている。しかしながら、配信できるかできないかに関わらず、放送に関する資料や放送音源は多くはそれに関わったディレクターや実演家の手元に残された個人資料であり、原資料のままでは代が移ると散逸する危険性が高く、なんらかの保全処置が早急に必要である。

そのためには多くの方々の御支援・御助力が必須であるが、「メディアと古典芸能研究会」には、幸いにして多くの放送関係者、特に民放OBの御協力を頂けるようになり、放送文化基金からの援助

も頂けるようになった。平成二十四年十月現在までに、放送文化基金より「メディアと古典芸能研究会」に頂いた助成金と採択課題は下記の通りである。

二〇〇六年（平成十八年）助成額 八十万円

「昭和初期ラジオ放送の研究「伝統芸能」の成立」

相山女学園大学文化情報学部 助教授 飯塚恵理人（この年度は個人申請）

二〇〇八年（平成二十年）助成額 八十万円

「昭和30-50年代古典芸能番組の研究―座敷芸から舞台芸能への変化―」

メディアと古典芸能研究会 代表（相山女学園大学教授） 飯塚恵理人

二〇一〇年（平成二十二年）助成額 八十万円

「昭和20年代・30年代ラジオ放送古典芸能番組の研究―テレビ・民放の誕生―」

メディアと古典芸能研究会 代表（相山女学園大学教授） 飯塚恵理人

二〇一一年（平成二十三年）助成額 八十万円

「昭和20年代・30年代前半のラジオドラマ制作―放送劇団と流行歌・古典芸能SPレコードの使用―」

メディアと古典芸能研究会 代表（相山女学園大学教授） 飯塚恵理人

研究会は最初、研究者主体で発足したが、中部日本放送OBの本田善郎氏（民謡・芸能担当ディレクター）・松谷敦氏（ラジオドラマ担当ディレクター）・中野之也氏（音響技術担当）・成田徹男氏（音響技術担当）の御協力を頂けるようになり、当初古典芸能に絞った活動から、放送が作った文化と放送の資料全体を対象としたデジタル保存と活用に会員の関心が増してきた。このため今年度（放送

文化基金としては前年度申請となるため、平成二十三年度分）は古典芸能音源のデジタル化を「辻山幸一氏所蔵の放送関連SPレコードのデジタル化」として継続したもの、松谷敦氏所蔵のラジオドラマ放送台本や中野之也氏所蔵の劇団CBC関係写真・音源などのデジタル化というラジオドラマ関係の資料のアーカイブにも取り組んだ。ラジオドラマ台本の内容についての文学的・演劇学的な調査は今後の課題として、平成二十四年十月現在において本会として収集した資料について、筆者が把握している範囲で報告させて頂きたい。なお、本稿は拙稿「中部日本放送放送劇団の資料について」（注）の続きにあたる。

## 一 中野之也氏所蔵劇団CBC昭和二十年代後半写真

中野之也氏は中部日本放送（以下「CBC」）開局の時に日本放送協会（NHK）を退社して移籍された、CBCの草創期を知る音声技術者である。中野氏は松谷敦氏と共に昭和二十年代後半、ラジオドラマの制作に関わることが多かった。CBCは専門の劇団「劇団CBC」を有していたが、この度、中野氏が撮影された昭和二十年代の劇団CBCの劇団員やアナウンサー・スタッフの写真を研究会に提供して頂いた。民放草創期のラジオドラマを支えた人々に関する貴重な写真であり、時が移るとラジオドラマを支えた声優や効果音スタッフについても分からなくなってしまう可能性が強いことから、ここに紹介することとした。

以下に劇団CBC写真のキャプション一覧を示す。「プリント1枚目の上一段目＋左から一枚目」を「1-1-1」と表示する。プリント2枚目の上一段目＋左から三枚目は「2-1-3」となる。

キャプション末の( )はデータ番号である。\*は現在未確認等で不明を表わす。\*の記号は以降の章でも用いている。

(プリント1枚目)

- 1—1—1 : \* (bw 101)
- 1—1—2 : 石黒節子 (bw 102)
- 1—1—3 : 井川則子 (bw 103)
- 1—2—1 : 左から柳有、今泉洋、大村一平、\* (bw 104)
- 1—2—2 : 左：佐藤、右：石黒 (bw 105)
- 1—2—3 : 柳有 (bw 106)
- 1—3—1 : 左：中村嘉奈子、右：コロムビア・ローズ (bw 107)
- 1—3—2 : 藤岡ひろ子 (bw 108)
- 1—3—3 : 石黒節子 (bw 109)
- (プリント2枚目)
- 2—1—1 : 今泉洋 (bw 110)
- 2—1—2 : 石黒節子 (bw 111)
- 2—1—3 : 今泉洋 (bw 112)
- 2—2—1 : 左：井川則子、右：石黒節子 (bw 113)
- 2—2—2 : 田中幸子 (bw 114)
- 2—2—3 : 左：佐藤、右：石黒節子 (bw 115)
- 2—3—1 : 左：井川則子、右：藤岡ひろ子 (bw 116)
- 2—3—2 : 今泉洋 (bw 117)
- 2—3—3 : 大村一平 (bw 118)
- (プリント3枚目)
- 3—1—1 : 左：井川則子、右：石黒節子 (bw 119)
- 3—1—2 : CBC第一スタジオ日曜劇場公開放送。歌っているのはコロムビア・ローズ (bw 120)
- 3—1—3 : 「浮雲日記」スタッフ集合写真 (bw 121)

- 3—2—1 : 田中幸子 (bw 122)
- 3—2—2 : 前列左から伊藤、中川プロデューサー、太田「技術」、松枝、後列左から佐野「効果」、中野「技術」、桑田 (bw 123)

- 3—2—3 : CBCスタジオにて。前列左から井川則子、石黒節子、\*、永井百合子、藤岡ひろ子、後列左から福島「効果」、大村一平、\*、\*、\*、久松保雄、三輪「効果」、清水元、伊藤松郎、\*、中川一男、\*、柳有、中野之也 (bw 124)

- 3—3—1 : 「浮雲日記」スタッフ集合写真 (bw 125)
- 3—3—2 : 「浮雲日記」CBC第一スタジオにて。左より中川一男プロデューサー、今泉洋、田中明男、\*、永井百合子、\*、\*、\* (bw 126)

- 3—3—3 : 劇団一期生。前列中央：山尾澄子、前列左より石黒節子、井川則子、田中幸子、中列左より今泉洋、津島和子、藤岡ひろ子、大村一平、後列左より中野之也、佐藤年 (bw 127)

(プリント4枚目)

- 4—1—1 : 左から藤岡ひろ子、中野、\*、柳有、井川則子、大村一平、山尾澄子、佐藤年、中村 (bw 128)
- 4—1—2 : CBCスタジオにて。「一期生」前列左から大村一平、柳有、中列左から山尾澄子、藤岡ひろ子、中村嘉奈子、井川則子、後列左から田中幸子、石黒節子 (bw 129)
- 4—1—3 : 左から藤岡、中野、井川則子 (bw 130)
- 4—2—1 : 左：佐藤年プロデューサー、右：石黒 (bw 131)
- 4—2—2 : 前列左から藤岡ひろ子、田中アナウンサー、井川則子、後列高野「技術」 (bw 132)
- 4—2—3 : 石黒劇団員 (bw 201)

- 4—3—1…茂木アナウンサー (bw 202)  
 4—3—2…茂木アナウンサー (bw 203)  
 4—3—3…加藤明康アナウンサー (bw 204)  
 (プリント5枚目)

- 5—1—1…宮田桂 (bw 205)  
 5—1—2…加藤明康アナウンサー (bw 206)  
 5—1—3…伊藤松郎プロデューサー (bw 207)  
 5—2—1…伊藤松郎プロデューサー (bw 208)

## 二 中野之也氏収蔵6mmオープンリールテープリスト

今年度は中野之也氏収蔵のオープンリールテープを、成田徹男氏に依頼してデジタル化した。ここにはデジタル化が終わっているテープのリスト(成田徹男氏作)を挙げる。なお現在デジタル化を依頼している音源や、デジタル化が終わっているものの、飯塚の方でリストの整理が済んでいないものもあり、それらについては別稿を期したい。

- ① 浪曲No.1 天保水滸伝 二十六分三十秒  
 ② 浪曲 忠治山形屋 放送…昭和二十九年 午前九時三十分～十時〇〇分  
 ③ モニターサロン ミュージックホール座談会 寺井プロデューサー  
 ④ 三菱劇場 「リリオム物語」 放送…昭和二十九年一月三日 午前八時～八時三十分 プロデューサー…中川一男  
 ⑤ 三菱劇場 「3/4の恋物語」 放送…昭和二十九年二月二十一日 プロデューサー…中川一男

- ⑥ 眞夏の夜のジャズ No.1 放送…昭和三十五年九月 プロデューサー…伊藤和典  
 ⑦ 芸術祭参加番組(第十二回)「沙比古と次麿」 放送…昭和三十三年十一月二十七日 作…松山善三 音楽…木下忠司 出演…中代達也・北村和夫・滝沢修他青年座  
 ⑧ 夜と愛と恋と「橋」 放送…昭和三十五年十一月二十八日 午後十一時十五分～十一時四十五分 プロデューサー…松谷敦夜と愛と恋と「一月の部屋の扉」 放送…昭和三十六年一月二十三日  
 ⑩ この人 この友 この故郷 「田淵壽郎」 放送…昭和三十九年一月三十一日 午後九時三十分～十時〇〇分 プロデューサー…松谷敦 技術…角谷カトレア劇場 「夏の城」 放送…昭和三十九年八月二十八日 午後九時〇〇分～九時三十分 作…岸宏子 音楽…折本吉数 出演…天野有恒 大村一平 鬼頭昭夫 山田昌 舟木淳 新聞正治他  
 ⑫ CBCゴールデン劇場 「笑いについて」 放送…昭和三十九年九月二十三日 午後十時三十分～十一時〇〇分 プロデューサー…松谷敦 技術…角谷 作…水尾比呂史 出演…神山繁 稲垣昭三 大村一平 天野有恒 山田昌 柳有他  
 ⑬ CBC公開劇場 「ドラマスタジオ8」 「一つのお伽話 仙女の結婚」 放送…昭和四十一年三月二十一日 午後八時三十分～九時〇〇分 作…中村眞一郎 出演…赤沢亜沙子 松島滋広 大村一平 天野鎮男他  
 ⑭ サンデー・プレイ・ハウス 放送…昭和四十三年二月二十五日 プロデューサー…松谷敦 技術…小崎 出演…鬼頭昭夫 石原ひとみ  
 ⑮ CBCゴールデン劇場 「鳥」 放送…\*年七月二十八日 午

後十時三十分～十一時〇〇分 プロデューサー…松谷敦 技  
術…小崎 作…川崎洋 松谷・小崎 出演…小沢昭一 音楽・  
作曲…指揮…熊谷賢一 CBCアンサンブル  
⑯ 大学対抗バンド合戦 準決勝その4 CBCホール 放送…  
昭和四十三年三月二日 午後九時〇〇分～九時三十分 プロ  
デューサー…松谷敦 技術…高野

## おわりに

平成二十三年度放送文化基金による「メディアと古典芸能研究会」の調査で、筆者が平成二十四年十月現在で把握し、手元にあるデジタル化された資料を紹介させて頂いた。これらの音源は著作権が残っており、ネット上での一般公開はできないが、mp3ファイルにしてスライドライブ上で本研究会会員及び希望のあった演劇研究者・古典芸能研究者と共有している。民放草創期を知る人の高齢化が進んでおり、資料収集は急いで行う必要がある。今年度収集できた残りの資料については、来年度にはすべて報告させて頂くつもりである。今後も「メディアと古典芸能研究会」への御指導と御支援をお願いしたい。

## 注

「中部日本放送放送劇団の資料について」飯塚恵理人 梶山女学園大学研究論  
集 人文科学篇 第四十三号 梶山女学園大学 二〇一二年三月発行 六十一  
～六十八頁

## 補記

本稿は平成二十三年度放送文化基金人文社会・文化部門助成「昭

和20年代～30年代前半のラジオドラマ制作―放送劇団と流行歌・古典芸能SPレコードの使用―（メディアと古典芸能研究会）による成果の一部となります。記して感謝申し上げます。

いづか・えりと／文化情報学部  
E-mail: erito@sugiyama-u.ac.jp













